

第4章

計画の基本的な考え方

第4章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念と目標像

本計画は、令和7年（2025年）に向けて、さらにはその先の令和22年（2040年）を見据えて、本市の実情に応じた「高齢者分野における地域包括ケアシステムの深化・推進」を目的とし、「地域包括ケアシステム・豊中モデル」につないでいくための計画です。

本計画では、以下の5つの基本理念を掲げ、「地域包括ケアシステム・豊中モデル」の先にある姿、「目標像」に向けて取り組みを進めます。

○個人としての尊厳・人間性の尊重

すべての高齢者や家族介護者等の、個人としての尊厳が重んじられ、また、人間性が尊重されるよう、人権が保障されることを何よりも優先します。特に、介護を受ける高齢者等の人権に配慮し、個々のサービスについて人権の観点を踏まえることを基調とします。

○自己決定の尊重

質の高い介護サービスが提供されるよう、行政（保険者）責任を果たしていくとともに、主体的な自己の意思に基づいてサービスを選択し、利用できる仕組みの構築、強化を通じて、高齢者の自己決定を尊重します。

○高齢者等の自立支援と生活の質（QOL）の向上

高齢者が介護や支援を必要とする状態になっても、自分の持てる力を活用して、自己決定に基づく自立した日常生活を送るということが、自分らしい生き方や幸せにつながることから、自立支援と生活の質（QOL）の向上を重視します。

○地域ぐるみでの地域福祉の推進

すべての人がともに生き、孤立のない、社会参加のできる地域社会の実現に向けて、地域社会を構成する市民、事業者、福祉活動を行う団体、市などが地域づくりの担い手として、互いに対等な協力関係のもとに地域福祉を推進していきます。

○市民一人ひとりや多様な主体の意識変革

市民一人ひとりや事業者、専門職等などの多様な主体が「地域包括ケアシステム」の目的はもとより、それを深化・推進していくにあたっての課題を共有し、それぞれの役割、強みを生かして主体的に行動していけるよう、従来型発想からの意識改革を推進します。

目標像

**住み慣れた地域で、自分らしく生きがいや誇り、
明日への希望をもって、健やかに安心して暮らせるまち**

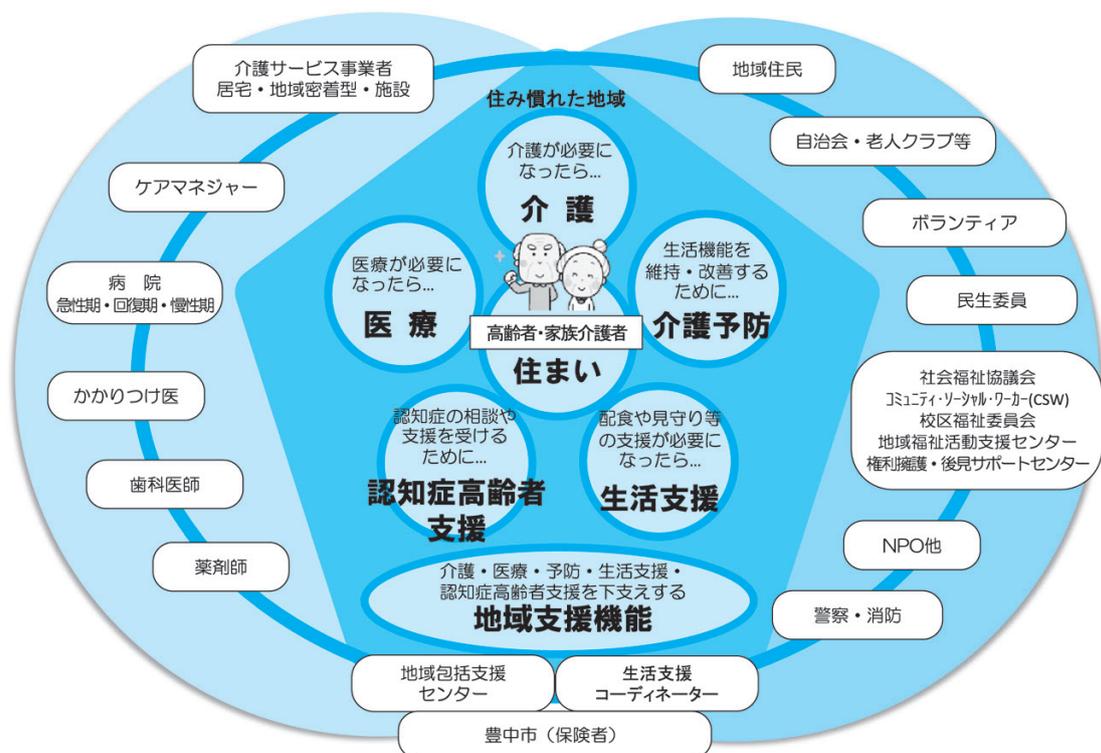
目標像

住み慣れた地域で、自分らしく生きがいや誇り、
明日への希望をもって、健やかに安心して暮らせるまち（=地域共生社会）

地域包括ケアシステム・豊中モデルの実現

（対象者別の概念を超えたトータルケア・トータルサポートのネットワークの実現）

高齢者分野における地域包括ケアシステムの深化・推進



みんなで創り、支え合うネットワーク

自助

互助

共助

公助

行政・民間事業者・地域住民・地域活動団体・NPO・中間支援組織等

上記の高齢者分野における地域包括ケアシステムについては、地域包括支援センターと生活支援コーディネーターが深化・推進に向けた両輪となり、それぞれの役割を果たしつつ、適切な支援を展開していくことが非常に重要となります。

また、「地域包括ケアシステム・豊中モデル」は、高齢者のみならず、障害者や子どもなど生活上の困難を抱える方が地域において自立した生活を送ることができるよう、地域住民等による支え合いと公的支援が連動し、地域を丸ごと支える包括的な支援体制と言えます。

そして、高齢者分野における地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取り組みを起点として、対象者別の概念を超えた「地域包括ケアシステム・豊中モデル」につなぎ、発展させていきます。

コラム 地域包括ケアシステムで実現したいこと ～人生の物語～

地域包括ケアシステムが構築された「まちの姿」や「みんなで創り、支え合うネットワーク」は、具体的にはどのようなものなのでしょうか。それぞれ一人ひとりの生活から見たとき、包括的な支援は、どのようにかかわっているのでしょうか。

ここでは、豊中市で暮らすあるご夫婦を例にあげて、未来の様々なサポートやサービス、地域でのつながりの様子、ご夫婦の思いを想像してみました。

豊中市での生活 ～待兼さん夫婦の場合～

| | |
|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>待兼 輝 (60歳) 待兼 益代 (60歳)</p> | <p>定年退職後、輝は益代の紹介で地域のグラウンドゴルフサークルに入会した。また、益代は以前から通っているスポーツジムにも輝を誘った。</p> <p>輝は当初は消極的であったが、次第に積極的にサークルに参加するようになり、スコアを伸ばすためにも筋力アップをめざし、定期的にスポーツジムに通うようになった。</p> <p>益代は地域団体の役員として子育て支援などの地域活動も続けている。輝が定年して家でゴロゴロするのはと心配であったが、サークル入会作戦がうまくいった。</p> |
|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| | |
|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>待兼 輝 (70歳) 待兼 益代 (70歳)</p> | <p>市民健診に夫婦で久しぶりに行った。輝は今でも続けているスポーツジム通いで自分は健康であると慢心していた。〇〇の値が高く受診を勧められた。かかりつけ医がないのでグラウンドゴルフ仲間に相談すると、地域でも信頼がある△△クリニックに行ってみよう教えてくれた。</p> <p>益代の結果は良好であったが、輝の身体が心配である。地域でお世話をしている高齢者が最近増えてきたが、いつの間にか自分たちも高齢者である。人の世話も良いがそろそろ自分たちも医療や介護の勉強をしてみようか。</p> |
|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| | |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>待兼 輝 (80歳) 待兼 益代 (80歳)</p> | <p>輝は3年前に◇◇疾患と診断されて入院した。</p> <p>スポーツジムで鍛えていたので、リハビリが順調でしだいに回復していった。麻痺は少し残るが杖があれば近所を散歩できる。</p> <p>輝も地域とのつながりができたことから、マンションの住民が協力的で輝の散歩に付き添って歩いてくれるなど地域に支えられている。益代は、以前に勉強していた介護の知識が役に立ち、介護保険の手続きも順調にいった。</p> <p>ヘルパーや地域に助けられ、このまちなら最期まで安心して生きていけると思った。</p> |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

豊中市には、私たち夫婦を支えてくれる「地域」がある。

仕事一筋の無趣味であった私を退職後に温かく受け入れてくれたこと。

妻が地域の子育てサークルを手伝うことで逆に元気をもらったこと。

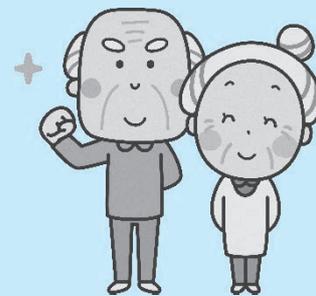
思い起こせば、私たちの老後の楽しみや健康はこの地域によって育まれたように思う。少しずつ身体は弱ってきているが、大好きなこのまちで周りの人や地域に助けってもらいながら、これからも人生を楽しんでいきたい。

このまちのいいところは「人」の笑顔だと思う。支援する側もされる側も笑顔でつながっている。そのことはこれまでの地域活動で実感してきたことだ。「人」が輝いているせいか、まちにも活気がある。これは、他のまちから豊中市を訪れる親戚や友人がみんな口を揃えていうことだから間違いないだろう。

そういえば、豊中市は他のまちのモデルになっていると聞いている。なんでも地域包括ケアシステムが進んでいるらしい。

私たち市民が実感として暮らしやすいと思っているということは、良いシステムだと思うし、日本中がそうなれば素晴らしいことだ。

次の世代もまたその次の世代も安心して暮らしていけるように、これからもこのまちの地域包括ケアシステムは発展していくだろう。



待兼 輝 (80 歳) 益代 (80 歳)

地域包括ケアシステムはまちの物語です。物語の主人公は、みなさん一人ひとりです。誰もが物語を最後まで安心して読み進められるように、みなさん全員で安心することができる未来を創造していきます。

今回は待兼さん夫婦が主人公として描かれていましたが、次の主人公はあなたです。どのような物語が描かれるか乞うご期待。

2. 基本目標

目標像である「住み慣れた地域で、自分らしく生きがいや誇り、明日への希望をもって、健やかに安心して暮らせるまち」の実現に向けて、以下の4つの「基本目標」を設定します。

基本目標 1 人生 100 年時代を見据えた生涯現役社会の実現

高齢期を迎えても、誰もが心身ともに健やかに暮らしていけるよう、活動的な生活習慣の実現と心身機能の維持・向上に向けた健康づくり・介護予防を展開します。また、高齢者の生活機能レベルやニーズ等に応じた多様で切れ目のない社会参加・活躍を促進します。

なお、健康づくり・介護予防及び社会参加の促進に向けては、一人ひとりの意識・行動の変容を支援するとともに、社会環境づくりに取り組み、生涯現役社会の実現をめざします。

基本目標 2 一人ひとりの状況・状態に対応した支援の実現

高齢化に伴い認知症の症状のある人や介護と医療の両方のニーズがある人などの増加が見込まれるなかで、介護や医療、福祉、保健などの専門職のスキル向上はもとより、多職種連携やケアマネジメントの質の向上、それぞれのサービスが提供される前提となる住まいの確保などを通じて、一人ひとりの状況・状態に対応した支援の実現をめざします。

基本目標 3 安心して暮らし続けるための生活基盤づくり

日常生活での不安を抱える高齢者やその家族が、安心して暮らしていくことができるように、地域の実情に応じた生活支援体制の充実を図ります。

また、複雑化した支援ニーズに対応できる相談・支援基盤を構築・強化し、住み慣れた地域での生活の継続を可能にする、地域づくりに取り組みます。

基本目標 4 介護保険制度の持続可能性の確保と 2040 年に向けた基盤づくり

2040 年を展望し、地域の高齢者介護を支える人的基盤の確保や介護給付の適正化など介護保険制度の効果的・効率的な運営等を通じて制度の持続可能性を高めます。

また、2040 年に備えて、今から若年層への予防的アプローチやデジタル技術等の積極的な利活用の推進・促進に取り組みます。

さらに、行政（保険者）としての地域デザイン機能の強化を図ることで、2040 年のあるべき姿（目標像）から逆算し、その実現に向けた基盤づくりに取り組みます。

3. 第8期計画で重点的に取り組むこと

第7期計画で設定した重点推進プランや第7期計画の課題などを踏まえ、第7期計画との継続性を担保しつつ、4つの基本目標の確実な達成に向けて、基本目標に関連する取り組みの中から、各基本目標をリードする取り組みを「重点的な取り組み」として設定します。

4. 施策体系

目標像

住み慣れた地域で、自分らしく生きがいや誇り、
明日への希望をもって、健やかに安心して暮らせるまち（＝地域共生社会）

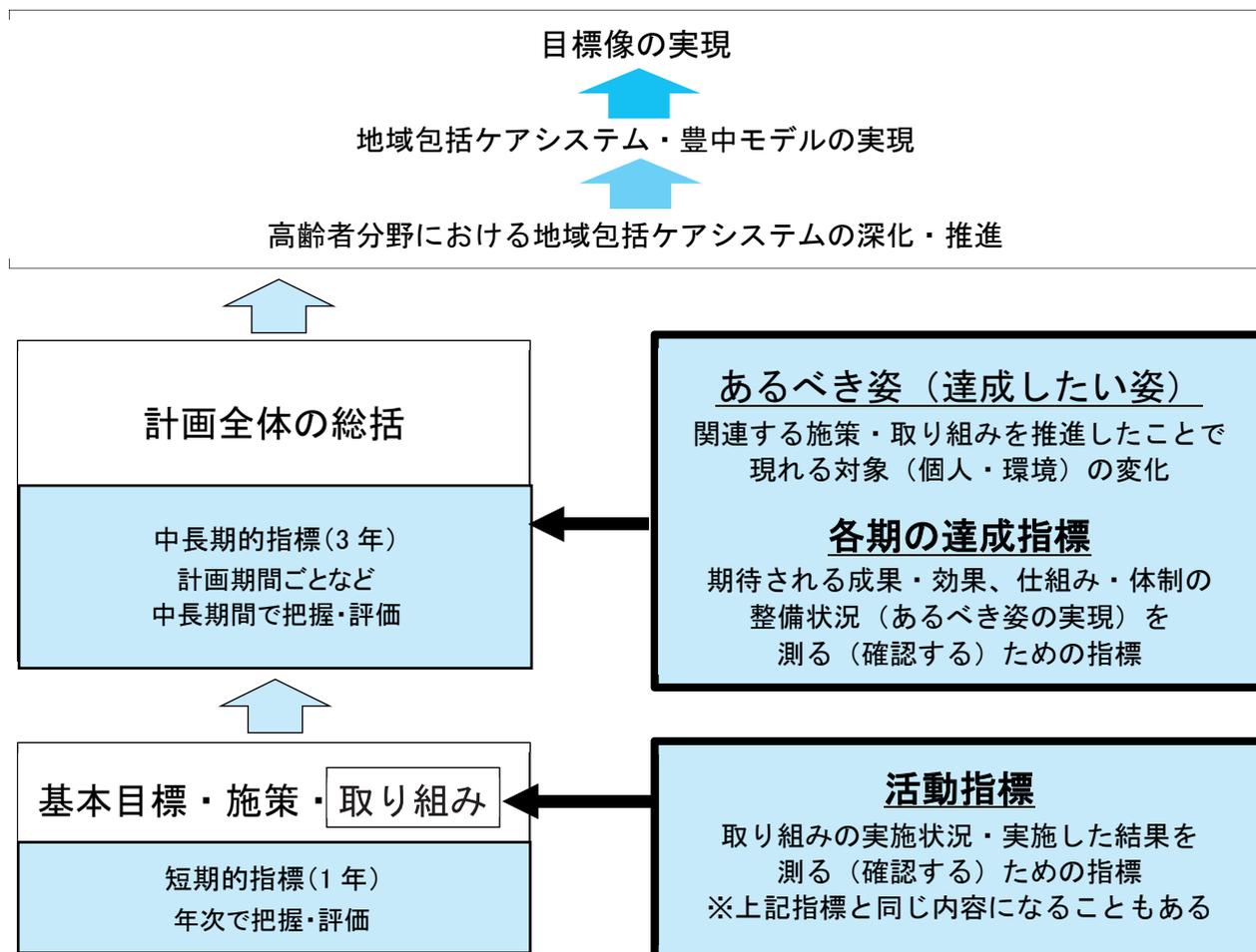
地域包括ケアシステム・豊中モデルの実現

高齢者分野における「地域包括ケアシステム」の深化・推進

| 基本目標 | 施策 | 取り組み（★：重点的な取り組み） |
|-----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 人生100年時代を見据えた生涯現役社会の実現 | 1) 健康づくり・介護予防の展開 | (1)健康づくりの推進★ (2)介護予防の推進★ |
| | 2) 社会参加の促進 | (1)地域活動等への参加促進 (2)就労支援の充実 |
| 2. 一人ひとりの状況・状態に対応した支援の実現 | 1) 認知症施策の充実 | (1)認知症の理解促進と地域で見守り支える環境づくり★ (2)認知症の予防・早期発見とスムーズに支援につなげる体制の充実★ (3)認知症の人と介護家族に対する支援の充実★ |
| | 2) 関係機関・専門職の支援スキルの向上と多職種連携の強化 | (1)在宅医療と介護の連携強化★ (2)ケアマネジメントの質の向上 |
| | 3) 住生活環境の充実 | (1)自立生活が続けられる住まいの支援 (2)生活環境の充実 |
| 3. 安心して暮らし続けるための生活基盤づくり | 1) 生活支援体制の充実 | (1)地域での支え合い・助け合い機能の強化★ (2)生活支援に関するサービス・制度の充実 (3)災害時や感染症発生時に備えた支援体制の充実 |
| | 2) 相談及び支援基盤の構築・強化 | (1)地域における総合相談機能の強化 (2)権利擁護・虐待防止の推進 (3)家族介護者への支援の充実 |
| 4. 介護保険制度の持続可能性の確保と2040年に向けた基盤づくり | 1) 介護保険制度の効果的・効率的な運営 | (1)介護人材の育成・確保と介護現場の革新★ (2)介護サービスの質の向上と介護保険制度の適正な運営 (3)利用者支援の充実 (4)介護サービスの整備 |
| | 2) 2040年に備える取り組みの推進 | (1)若年層からの予防的アプローチの展開 (2)デジタル技術の利活用の推進・促進 |
| | 3) 地域デザイン機能の強化 | (1)地域デザイン機能の強化に向けた仕組み・体制の整備・充実 |

5. 計画の進捗管理・評価

本計画では、計画の進行管理・評価を効果的に進めていくために、計画でめざす目標像等とともに、基本目標ごとに「あるべき姿」と「各期の達成指標」、基本目標に関連する施策・取り組みに「活動指標」を設定します。



また、活動指標は「第5章 施策の展開」の各取り組みにおいて、あるべき姿と各期の達成指標については「第6章 地域包括ケアシステムの深化・推進のためのロードマップ」において記載します。

進捗管理・評価については、上記の指標とともに、保険者機能強化推進交付金・努力支援交付金に関する評価指標の達成状況等を踏まえ、豊中市介護保険事業運営委員会において行います。

なお、評価指標の達成状況や評価結果等については、市ホームページ等を通じて公表します。